

平成17年度 自治会長研修視察

新町の農業振興の参考に

平成十七年度 自治会長研修視察レポート

平成十七年度の自治会長研修視察が七月八日から十日の日程で行われました。

この研修視察は新町発足に伴い、町民と行政との意思の疎通を図り、町民一体となって「心豊かで潤いと活力のあるまちづくり」に臨むため実施しました。

初回となる今年度は、「新町の農業振興」をメインテーマに大阪市中央卸売市場、愛・地球博などを訪れましたので、その模様を紹介します。



▶ 大阪市中央卸売市場

西日本の基幹市場

大阪市 中央卸売市場

夜八時三十分出発、七月九日の早朝には大阪市福島区にある大阪市中央卸売市場を訪れました。

全国には五十六都市に八十六カ所の中央卸売市場がありますが、今回訪れた大阪市中央卸売市場は西日本随一、全国でも三本の指に入る市場で、平成十五年の

総取扱高は約百七万ト、金額で約四千二百八十五億円です。

この日も朝早く輸入農水産物や全国各地から野菜、果物、水産物、食肉類、加工食品など多種多様な品が集荷され、セリ（競売）にかけられ中卸業者などがセリ落としていました。



▶ 視察される自治会長の皆さん

◀ 全国各地からの産物がずらり



本町の特産品である椎茸もこの市場に出荷され、消費者から高い評価を受け京阪神に流通しています。（昨年の実績 約百七十七ト・約二億七百万円）

見学終了後には、市場の担当者から中国等から輸入される農産物の動向や国内の消費傾向、今後の有望作物などについて話を聞きました。

参加された自治会長さんからは「農産物の流通の様